



くにたち市議会だより



第2回定例会

No.249 令和元(2019)年
8月5日

発行：国立市議会 編集：広報委員会

国立市富士見台2-47-1

Tel：042-576-2111

Fax：042-576-2205

http://www.city.kunitachi.tokyo.jp/gikai



(PC・スマートフォン専用)



総合防災訓練 が行われました

6月30日(日)、国立第五小学校にて総合防災訓練が行われました。当日は地域自主防災組織、消防団、医師会など多数の方々にご協力いただき、地震体験・負傷者トリアージ訓練・初期消火訓練・火事の際の煙体験・カレーの炊き出しなどが行われました。ご参加いただいた皆さまありがとうございました。

当日のスタンプラリーの
景品は防災グッズと
クラッカーでした！



9月議会(第3回定例会)にお越しください。



日	月	火	水	木	金	土
8/18	19	20	21 請願・陳情 締切(正午) 手話通訳 申込締切	22	23	24
25	26 議会運営 委員会	27	28	29 本会議 初日	30	31
9/1	2 本会議	3 本会議	4 本会議	5 本会議	6	7
一般質問						
8	9 総務文教 委員会	10 建設環境 委員会	11 福祉保険 委員会	12	13	14
15	16	17 議会運営 委員会	18	19 本会議 最終日	20	21

開会時刻：午前10時の予定です。

請願・陳情の締切：8月21日(水)正午までに議会事務局へご持参ください。
手話通訳申込の締切：国立市議会では本会議の初日と最終日に、手話通訳者を配置しております。手話通訳を希望される方は国立市議会ホームページ、又は右QRコードより、議会ウェブサイト「令和元年第3回定例会の手話通訳の申込みについて」をご覧ください。
※日程は変更になることがありますので、市のホームページでご確認ください。



今号のトピックス

- 公益的法人等への国立市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例案を可決しました。
[第36号議案→3面に結果]
- 令和元年度国立市一般会計補正予算(第2号)案を可決しました。
[第40号議案→2面に詳細]
- 監査委員を議会の全員賛成で同意しました。
[第42号議案→3面に結果]
- 「安心して働きながらしょうがい児を育てられる環境整備を求める陳情」を全会一致で採択しました。
[陳情第5号→2面に詳細]
- 「石塚陽一議員のセクシュアル・ハラスメントおよびパワー・ハラスメント行為に関する事実関係の徹底究明と認定事実の公表、さらに国立市議会政治倫理条例、女性と男性及び多様な性の平等参画を推進する条例を活かす具体的な対応と施策を求める陳情」を全会一致で採択しました。
[陳情第6号→3面に結果]
- 新たに「決算特別委員会」と「予算特別委員会」のインターネット中継を開始します。
[8面に詳細]

令和元年度国立市一般会計補正予算（第2号）案を可決しました。

【第40号議案】 [可決]

こんな質疑がありました

総務文教委員会

質疑なし。

建設環境委員会

Q プレミアム商品券は消費税を8%から10%に上げるための消費刺
激策であり、使用地域が限定され
ていることなどから地域振興策だ
と考えられるが認識は。
A 増税に伴う低所得者と子育て世
代に与える影響緩和策と考える。
現金給付でなく使用期限がある商
品券なので、買い控えの緩和とい
う面もある。

Q 市内でプレミアム商品券が使え
る店舗数は。
A 未確定だが約300店舗ほどである。
Q プレミアム商品券の配布対象者
は何名か。
A 非課税世帯1万2千人、子育て
世帯2千人と見込んでいる。
Q 使える期間は。
A 10月1日から2月末までの5か
月間である。

Q 販売方法と商品券の額面は。
A 対象者に引換券を送付する。引
換券は5口に分けて買える。1口
5千円の商品券を4千円で買う事
ができる。
Q 補助金が1億1千万円入って
おりそのうち事務処理費が約8千
円と多いと感じるが。
A 8千万円のうち約6千万円は市
民が得られる1千円の商品券の
部分である。

福祉保険委員会

Q 未来事業団運営補助金の内訳は。
A 運営費が200万円、人件費が約千
600万円、業務支援事業委託費が140
万円、印刷費が60万円、システム
やその他経費で270万円を計上して
いる。

Q 業務支援事業委託費はどのよう
なことをやるのか。
A 一言でいうとコンサルタント業
務である。

Q 人件費の1千600万円だが3人で
7か月分だが、1年に換算すると
3千万円ほどになるのか。
A 人員を3名と説明したが、決し
て足りている状況ではない。

Q 民営化すると1園あたり4千万
円の補助金が受けられるが、その
うち3千万円は人件費だが、市の
職員が移るといことは、市の職
員人件費は下がるということか。
A 業務を移管する分は下がる。

Q 理事会や評議会の開催費用が20
万円であるが、内訳は。
A 理事が6名4回分で60万円、監
事が2名4回分で20万円、評議員
が9名を見込み、1人1回9千100
円で3回行う。この評議員を選任
する委員会を設立するので、別途
予算がある。

Q 準備会の中で理事長が決まるわ
けだが、準備会の座長に理事長を
お願いしているのか。
A その通りだが、決定は評議会等
の議決をもって決定する。

こんな討論がありました

総務文教委員会

賛成 受動喫煙防止に向けた喫煙
所の設置の補助金など重要な予算
が入っている。

反対 他の所管する委員会で賛成
できない所がある。

賛成 他の自治体の自然災害で苦
しむ所に対応する、国立市の姿勢
を示す予算が含まれている。

建設環境委員会

賛成 プレミアム商品券での効果
は少ないと考えるが、他の件で大
事な予算が入っている。

反対 他の所管する委員会で賛成
できない所がある。

賛成 プレミアム商品券は効果が
少ないという意見もあったが、低
所得者、子育て支援、地域振興の
各対策となるので、賛成する。事
務費が高いので、抑える取り組み
をしていただきたい。

賛成 消費税は逆進性があるが、
社会保障が上がっていく中で景気
に左右されない財源としての消費
税の重みは増す。しかし景気の落
ち込みは許されない。

賛成 空き家対策事業費は法律家
など入れてしっかりやってほしいと
言ってきたが減額になった。今後
問いただす。プレミアム商品券に
ついては国の政策は正しいと思う。

福祉保険委員会

賛成 事業団は公立と同じような
保育の質を保ち、伸ばしていく可
能性もある。事業団運営になった
後も検証することが大切。

反対 事業団とした点は評価でき
るが、民営化に反対。

賛成 市長が国立市は子育てに本
気で取り組むんだという思いを基
に作ったと認識している。

賛成 保護者や働いている方の不
安はあるが、担当部長が頑張って
信頼を得ている。理事者も担当と
動き、もっと不安を取り除いても
らいたい。

賛成 事業団は国立市が全国に先
駆けたソーシャルインクルージョ
ンの理念を活かし、子どもの最善
の利益を追求してほしい。

賛成 事業団方式にすることで、
保育士の入れ替わりなどの保育環
境の激変が抑えられると聞してい
る。新たな補助金を得るので保育
環境の拡充が図られることを期待
する。

「安心して働きながらしょうがい児を育てられる環境整備を求める陳情」を 全会一致で採択しました。

【陳情第5号】福祉保険委員会 [採択]

こんな質疑がありました

陳情者に対して

Q 地域サポーターの方に対して何
か不安はあるか。
A 賃金を払いたいのので有償にして
いるが、ボランティア契約ではな
いために保険加入されていないの
で不安だ。また、サポーターの方
に研修を受けていただく良い。

Q 陳情者にとって一番訴えたいこ
とは今の状況を改善したいという
ことか。
A 移動支援は今の問題であり、明
日の移動支援者の方を見つけてい
ただきたい。

Q 事業所を見つけないときの状況を
教えてほしい。
A 移動支援を行っている事業所に
電話をしたが断られ続けたので、
心が折れてしまい見つけることが
できなかった。

Q 他の市区町村で参考になるよう
な方法があるのか。
A 町田市では学童スタッフが付き
添う移動支援がある。調布市では
付き添い送迎が1回200円で利用で
きるサービスがある。杉並区は通
所支援ボランティアがあり、児童
青少年課に登録したボランティア
を保護者に紹介している。

Q 移動支援のマネジメントは行政
などが行うことを希望するか。
A 希望する。相談窓口が一括とな
ることも希望する。

【市の担当者に対して】
Q 移動支援のコーディネートをし
ていくことはできないか。
A 今後はコーディネートがサポー
トの取り組みを進めていく。
Q セーフティネットを緊急に作
らなければならないが、子ども家

庭部・健康福祉部・教育委員会
いつまでに会議を持ち、方針を決
定するのか。
A 最終本会議の前までに話し合い
を行い、対応に努めていく。

Q 個別に対応できるケースは、即
対応していただきたいがどうか。
A 福祉保険委員会が終わった段階
で陳情者と個別に話をし、早々に
対応していきたい。

こんな討論がありました

賛成 「くにサポ」は子ども子育
の総合相談窓口であり、ワンス
トップの相談窓口にしていただき
たい。地域サポーターの方が専門
の研修を受けるようお願いする。
縦割りを外した複数の部署が連携
し、地域の協力を生かして、早急
な対応を望む。

賛成 トライアングルプロジェクト
は自治体も行うものであり、そ
れを機能させていくのは「くにサ
ポ」である。身体介助の助成金が
他市並みとなるようお願いする。
移動支援の方法は多様な選択肢と
なるよう要望する。

賛成 合理的配慮を必要とするし
ようがないの子の学童の通所保
障は、教育委員会と行政が連携し
なければできない。連携会議を早
急に持ち対策を最終本会議までに
決め、陳情者や福祉保険委員会に
報告することをお願いする。

賛成 移動支援の事業所探しや、
毎日のマネジメントなどは、保護
者が行うのではなく、各市長部局
と教育委員会が連携し、対策を早
急に検討するようお願いする。

賛成 移動支援のセーフティネ
ットがどのようになるのかまだ見
えてこない。制度としていくには
予算と共に市民ぐるみの検討が必
要。今回の陳情は議会に対する政
策提案と受け止め、関与していく
責任がある。



※イメージ

令和元年第2回定例会

各会派の議案への賛否

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ※：除斥

Table with columns for 議案番号, 件名, 概要, 会派名 (人数は議長を除く数), and 議決結果. Rows include 市長提出議案 (予算, 条例, その他, 人事) and 議員提出議案 (意見書・決議, 陳情).

一般質問とは、議員個人が市政全般について行政当局（市長や教育委員会など）に質問することです。一般質問発言順に、各議員本人が要旨をまとめたものを掲載しています。

教育・医療・行財政改革を進め、生活の不安を減らせ！

みらいのくいたち 望月健一 議員

Q 子どもに関する基本条例制定をどう考えるか。
A 子ども総合計画審議会で審議する。

Q 中学校の制服、スラックス、スカートを検討できるようにすべきでは。
A 次年度から対応できるように検討する。

Q ひより親世帯の所得200万円以下、135万円以下の割合は。
A それぞれ全体の64%、53%である。

Q 学習支援事業、ひとり親家庭の子どもにしっかりとつなぐべきでは。
A その方法についてきちんと検討する。

Q がん対策基本条例の制定をすべきでは。
A 研究する。

Q インフルエンザ予防接種の補助を子どもにも拡大すべきではないか。
A 医師会の意見を聴き、検討する。

Q 行財政改革、RPA（定型業務の自動化）及び市役所業務の棚卸しの進捗状況は。
A 業務の棚卸については秋頃、中間報告をする。RPAに関しては、業務プロセス分析を行う中で導入可能性を探る。

Q 庶務業務の集約化で改善できるものはあるか。
A 出退勤システムの効率化などを検討研究する。



旧駅舎の再築を好機と捉え、持続可能なまちづくりを！

新しい議会 石井めぐみ 議員

Q 国立市を持続可能なまちにするための人口増加策として、まずは流入人口を増やす必要があるがそのための取り組みは。
A 市民や商店街のご協力のもと、イベントの拡大や市内口への誘致など、来街者を増やす施策を行っている。

Q 住んで良かったまちとしての評価は高いのに、住みたいまちには選ばれない。まちの魅力を市外に十分に発信できていないのではないか。
A 市内へは市報やSNSでターゲットを絞った情報発信を行っているが、市外への総合的なプロモーションは、該当する部署や専門的な人材がいないうことで課題がある。

Q 駅舎の再築は市を宣伝する大きな好機になる。募集している旧国立駅舎のチーフコーディネイターは、裁量権を持って国立市を総合的にプロデュースできる人材が望ましいと思うが、市長はどう考えるか。
A 行政にノウハウがない業務をやっていたら、これからの環境整備などこれから内部で検討したい。他、外国籍の市民が自由なく暮らすための多文化共生について質問。



市民負担にかかわる問題と北地域の交通安全について

日本共産党 柏木 洋志 議員

Q 国立市行政経営方針にて国保赤字解消とあるが、どのような計画か。
A 現在具体的方針はないが、今後国保料見直しをする場合でも低所得の方の負担軽減に努めていく。

Q 容器包装プラスチックのごみ袋は高すぎると考えるがどうか。
A 排出抑制・適正排出の観点で今後もご理解ご協力を頂きたい。

Q ペットボトルだが、東大和市では協定を結びごみ回収機を設置した。国立市でも実施すべきでは。
A 東大和市が企業と結んだ協定の一環として取り組んでいるものですが、

Q 国立市としてはエコシヨップ認定し推進していくと考えている。今後参考になるものは取り入れていきたいと考えている。
Q 中央線北側側道の北三丁目付近にある保育園周辺に信号機設置の要望があるがどうか。
A 高架下商業施設や保育園への利用者増加は認識しており、これまでも警察署・警視庁などと協議したが、基準に満たないという事で見送られている現状がある。今後警視庁からの通知が出ていることもあり、園と協力して協議の上要望を上げるなど対応をしていく。



手放さないで！学校給食

耕す未来@くいたち 小川宏美 議員

Q 新・学校給食センター建てかえで大きな変化が起きる。市と委託事業者の間で特別目的会社SPCが入る。この中間会社に儲けが出るのでは。
A SPCは事業全体で運営するので、市の負担する委託料は圧縮できる可能性もある。

Q 市が給食に支出している金額をSPCに払っていく形なのか。
A そのとおりだ。

Q この方式では設計・整備・維持管理・調理・運送・配膳まですべて民間業者がおこなう。民営化ではないか。疑問が多い。
A 全体として直営の中で

Q 部分委託していく形だ。旧駅舎を生かした駅周辺まちづくりを望む。旧駅舎左右の空間確保のための用地確保の協議はすすんでいるのか。
A できるだけ広い空間を確保するよう協議中だ。

Q 協議先のJR首都圏えきまち創造センターは、駅づくりからまちづくりへを展望している。市のスタンスである「景観・文化・環境」を理解してもらって交渉して欲しい。
A 市や市民の考えはJRに伝わっている。他、「緑の基本計画」の目標に沿って緑を保全していく施策を質問。



不要な看板を撤去へ！

新しい議会 藤江竜二 議員

Q 市内には無駄と思える公共看板が多数ある。不要不急の看板を設置しないために、看板の統一的な指針を作れないか。
A 公共建築物のガイドラインや屋外広告物のガイドライン等を作成したいと考えている。その中で公共看板について検討していきたい。

Q 第二小学校周囲の歩道を拡げることについてはどうなっているのか。
A 歩道を拡幅し、ポケット広場を設置するといったことも考えられる。具体的には今後、市民等の意見を踏まえ進めていきたい。

Q 市内には無駄と思える公共看板が多数ある。不要不急の看板を設置しないために、看板の統一的な指針を作れないか。
A 期待は地域に開かれ、多様性が認められ、インクルーシブ教育が実現できるような学校づくりをお願いしたい。懸念は、財政である。1校30億円というようなお金がこれから連続的にかかってくる中において、資産を売却して、お金を生み出してその金を建設費に回して資産をつけかえし、同様の機能をつけるということも考える必要がある。また国や都の補助金の獲得もきっちりとする必要がある。



持続可能な環境・社会・経済（SDGs）を足元から

市民・ネット・緑と風 重松朋宏 議員

Q 市全体の気候変動対策の実効性をどう高めるか。
A 地球温暖化対策プランの執行管理と市民の機運醸成をしっかりと進める。

Q 市役所のプラスチック削減、グリーン購入、契約電力の再生エネルギー化をどう進めるか。
A まず庁内でしっかり検討していきたい。

Q 家庭ごみ減免の袋配布枚数を調整し、減量と負担軽減を進めてはどうか。
A 制度設計が難しい。

Q 子育て世帯、低収入世帯、高齢世帯の住宅確保・家賃補助を進めないか。
A 住宅セーフティネット法に基づき、まず居住支援の連携体制をつくる。

Q 国民健康保険の負担を、一般の社会保険なみに下げべきではないか。
A 数値目標を含め、国と都に要望を検討したい。

Q 持続可能な財政について。今後数十年、いつ頃、どんな事業を、どれくらい負担で行うか、わかりやすく提示できないか。
A 中期収支見直しは行政内部向けなので、市民への周知広報を研究したい。

Q 30年に目指す持続可能な開発目標（SDGs）をどのように取り組むか。
A 次の総合基本計画や行政計画に取り入れられないか、検討している。



多様な子どもたちの育ちを支える 中学標準服は柔軟な選択肢を

市民・ネット・緑と風 古濱薫 議員

Q 新給食センターでのアレルギー食対応は。
A まずは乳と卵から除去食を始め、専用の調理室に専属の調理員を配置し取り組んでいく予定。

Q 小中学校でのLGBT対応は。併せて中学校標準服はLGBT以外の観点からもスカートやスラックス、その他自由に選べる環境を望む。

Q 19年度までは個別対応していくが、学校や事業者とも相談して、20年度からは体系的にやっていきたい。

Q 20年度二中に開設される情緒固定級について、生徒達がお互いを尊重し

Q 国立市も助成している、広域でDV被害者支援に取り組む民間団体が資金及び人材の不足で、20年3月閉鎖の予定となったが市の思いは。
A 「市長」長い間の貢献に感謝。新しい形の被害者支援が問われる中、共に支えていけたらと思う。他、小中学校における事故及び熱中症対策、中学校部活動運営、市内DV被害及び児童虐待の現状について質問。



市民要望を中心にした 施策の展開を！

日本共産党 住友珠美 議員

Q 第二小学校改築マスタープランを策定中だが、住民より要望が寄せられている通学路の安全確保とバス停ベンチ設置を要望するがどうか。
A 歩道の拡幅など周辺道路に面して広がりのある空間づくりを行う方針はあるが具体的なベンチは入っていない。

Q LGBT施策を前向きに進めている国立市として、更にパートナーシップ条例を制定すべきと考えるがどうか。
A 現在、多様な性に関するガイドラインの策定に取り組んでおり、パートナーシップ条例に関して

Q ヘルプマーク対象者は多岐に渡っているが周知が進んでいないのが現状である。市内小中学校に向けた周知・理解促進や、わくわく塾のメニュー化などしてほしいがどうか。
A 小中学生に対する普及啓発は今後実施方法について詰めた。わくわく塾のメニュー化は検討の一つとして考える。

Q ごみ出し困難者へのきめ細かい対応が出来ていないがどうか。
A 困難者は福祉部が把握している事もあるので状況把握に努めたい。



一般質問 要旨・発言順

高齢化集合住宅に対応した 自主防災組織立ち上げを

公明党 小口俊明 議員

Q 高齢化集合住宅で避難に重点を置いた自主防災組織を検討できないか。

A 自主防災組織立ち上げの意思のあるところに職員が出向き、意見交換したい。

Q 青柳南団地をモデルケースとして取り組んではどうか。

A 自治会に職員が出向き話し合いを始めた。

Q 風水害に対応する国立版タイムラインのその後の取り組みは。

A 東京都が作成したマイタイムラインを活用し国立版を作成していく。

Q シェアサイクルが導入されたが電動アシストな

どの要望は実現したか。

A 全車種が電動アシストタイプである。ポートの増設が課題である。

Q 路線バスのダイヤ改正で泉田地発、操車場発の本数が減っているが市はどのように考えているか。

A 事業者からは利用状況を見て検討している。市としても注視したい。

他、抜け道となつていない生活道路の安全対策について、高齢者・しょうがいしゃに優しい歩行者用信号機の要望について、市内小売店舗への容積率回収ボックス設置推進について、ごみカレンダーの改善について質問。



在宅病児施策の充実を

自由民主党 青木健 議員

Q 南部地域における狹隘道路整備の予定について。

A 質問議員からのご指摘を踏まえ、業務への取り組みを強化し、積極的に制度の周知を図りたい。

Q 石田街道の歩道拡幅はどのような進捗状況か。

A 今回質問されている崖線下の橋の拡幅については、ひび割れ防水の補修工事を行うとともに高欄や縁石等の張り出し部分を撤去する工事を行う。

Q nonowa国立westから富士見通りに抜ける道路について、どのようなアプローチをされたのか。

A 高架下のプラザ、旧国立駅舎の再築や北口の整備も進む中、回遊性に向けた歩行者の動線誘導の重要性を認識し、地元商工関係者とともに地権者との話し合いを今後も引き続き行なっていく。

Q 医療ケアの必要な未就学児への対応はどうなっているのか。

A 補装具を購入される場合の費用については、原則9割が自立支援給付費で支給されるがこれには所得制限がある。質問議員が言われるように、よりきめ細やかな対応が出来るように、保護者の方や主治医の先生のご意見を伺いながら対応したい。



谷保第三公園の砂ぼこり対策、 少子化社会を変える取り組み

社民・ネット・緑と風 藤田貴裕 議員

Q 谷保第三公園の砂ぼこり対策で、スプリングラーの設置や周辺に花を植えることはできないか。

A スプリングラーを設置するとグラウンドの改修が必要になり、費用対効果の面もある。ふるさと納税を募りスプリングラーを設置することは多面的に考えたい。花植えに関しては市民の協力を得ながらやっていきたい。

Q 幼稚園児保護者負担軽減補助金の、市の上乗せ分は残すべきと考えるがどうか。

A 市内の幼稚園長と意見交換したり、26市の状況を見て判断したい。

Q 就労している保護者が幼稚園の預かり保育を利用する場合、補助金が増えるが、どのような手続きがあるのか。

A 週3日以上かつ12時間以上就労している場合、保育の認定を受ければ無償化の対象になる。市に申請をする必要があるの

Q 特定不妊治療の市の上乗せ助成は、都補助の改善を受け、拡大したと考えていいか。

A 都の所得要件が70万から90万に引き上げられ、年齢要件も緩和された。都の助成拡大を受け市の要件も拡大した。



交通安全対策と 防災・減災対策を問う

公明党 青木淳子 議員

Q 交通弱者対策を問う。

A 安心・安全なまちの実現の為、交通安全教室の強化、高齢者の運転免許自主返納、自転車用ヘルメット着用促進、歩道等のユニバーサルデザイン化及びバリアフリー化、視覚しやうがい者や高齢者に優しい横断歩道や信号機設置の推進、交差点の隅切り確保、スクールゾーンの点検と見直しの検討等の施策を検討する。

Q 保育園側から安全性を高める必要があるとの指摘箇所の対応を問う。

A ガードレールの設置等も含め、安全対策を検討し立川警察へ要望する。

Q 本年度から実施する減災対策推進事業を問う。

A 家具転倒防止器具の設置率を高める事業と出火危険度の高い地域の家庭用消火器配備促進の為、購入費用の半分を市で補助する事業を行う。

Q 防災の担い手作りの為荒川区のように中学校に防災部を作ってはどうか。

A 先進的な事例として、学校に情報提供する。

Q 国分寺市で実施している市民防災まちづくり学校を開催してはどうか。

A 国分寺市の担当者から話を聞き、国立市に有効な手立てを考える。

他、学校開放を質問。



市は課題を解決する 取り組みを！

立憲民主党 榊田美菜子 議員

Q 新しい南口のロータリーでは朝夕のラッシュ時にはバスやタクシーがロータリー内に滞留し、乗降の為に二重停車等が起ると考えられるが安全対策にどう取り組むか。

A 南口ロータリー案はバスやタクシー事業者の了解も得た中で作成している。限られたスペースの中で運用していく。

Q 現状のままだと危険が予測できる。会議以外で事業者側から相談は。

A 4月17日にあった。

Q しょうがい児の移動支援について昨年と今年で同様の相談に對しどう改善したか。

A 移動支援サービスのヘルパーが見つからないことについてはしょうがいしゃ支援課のケースワーカーが間に入り、事業所や地域参加型介護サポート、社協の安心サービスや地域の民生児童委員さんなどに相談してやっと見つけた。

Q 移動支援サービスを含めた療育の在り方を市長はどう考えるか。

A 市長1個々の状況に寄り添う形で必要なサービスは何か総合的にコーディネートしながら供給できる体制を築いていくのが行政の使命と考える。

他、居場所づくりを質問。



街の賑わい創出と市内で起きた 個人情報目的外利用

社民・ネット・緑と風 関口博 議員

Q 旧国立駅舎と円形公園を一体的に活用し賑わいを創出してほしい。募集中のチーフコーディネーターとはどのような人か。

A コミュニティをベースに観光マネジメントを人々を巻き込んで展開できる人を支援するエフビズを何時立ち上げるのか。

A 令和2年度の予算編成を見据えて検討している。

Q 警察等の公権力が市民の個人情報目的外利用していることを市民に知らせるべきではないか。

A 実施に向けて検討する。

Q 市長が行政報告で行った損害賠償事件とは、職員が市民の個人情報目的外利用した件か。

A 目的外利用の件である。この件は、行政報告で市長が発言して公になったが、身近に起きた事件がなぜ職員間で共有されないのか疑問である。市長はこの件をどのように考えているのか。

A 市長1 自身非常にショックであった。情報の目的外利用はあってはならないことである。このことで市民に不安を与えたことは、たいへん遺憾で申し訳なく思っている。個人情報保護の徹底と制度運用について市内で徹底を図っていく。



市長の施策への思いと市民の 皆さんからの要望事項を質問

樹木の会 石塚 陽一 議員

Q 市長のまちづくりのアピールポイントは何か。

A 差別・偏見等を排除しお互いの多様性を認め合いう意識を持ち、考え方はソーシャルインクルージョンのまちづくりである。

Q 教育や地域コミュニティ予算を増やしては。

A 市の施策ごとのバランスではなく特定財源投入によって左右されている。

Q 公共施設の見直し費用の捻出とその活用施策は。

A 不要な用地の売却や民間業者との調整に努める。

Q 東二丁目の寄贈された土地の具体的運用方法は。

A 土地の権利関係の確認も済み小規模多機能型居

宅介護事業所の公募へ。

Q 東のミニコーポたまたらん坂店の閉店で高齢者等が買い物に不便をきたしているが市の救済施策は。

A 活用を試みたことがあるが所有者の意思の確認が必要と考える。

Q 大学通りの自転車の凹凸の損傷部分の改修を都に要請してほしい。

A 整備を求め意見書に對し都は自転車道としての整備完了後は維持管理を市に引き継ぐとのこと。

Q 国立駅舎再構築後の両脇の駅前広場の空地確保。

A 当局と協議中だが両脇に建築あるいは開発に関する具体的な内容は無い。



小学校の複合化について 崖線の管理について

自由民主党 遠藤直弘 議員

Q 七小の通学路工事に伴う迂回路のらせん階段の改良はどのように行うか。

A 警備員の配置とマンホールなどの段差解消、LED照明、転落防止柵、樹木剪定、らせん階段の洗浄を行う。

Q 崖線の樹木が育ちすぎることによる苦情を多く聞く。市は崖線の緑を緑の軸として市を象徴するランドマークの一つと位置付けているが市民が管理している民地が多く管理が難しいと思う。今後どのように管理するのか教えてほしい。

A 民有樹木地の所有者にとって多額の維持管理費が必要で、放置される事を懸念する。管理が出来ていない所は昼も光が届かず生物の多様性が損なわれる事や交通の妨げ、防犯上も好ましくない。基本方針を今後決める。

Q 二小の建て替えは複合化をする方針を出したがどの年代でも使える施設を要望する。どのような施設になるのか。

A 西福祉館を移転する。コミュニティスペースや貸しスペース、学童保育所、乳幼児親子が集える所などを考えている。

Q 駐車場の設置は。

A 児童の安全に配慮して設置する事も考えている。



一般質問 要旨・発言順

一般質問とは、議員個人が市政全般について行政当局（市長や教育委員会など）に質問することです。一般質問発言順に、各議員本人が要旨をまとめたものを掲載しています。

子ども医療費助成の所得制限を撤廃し中学生まで拡大を！

公明党 香西貴弘 議員

Q 義務教育世帯において、所得に関らず誰もが安心して医療を受けられるように、子ども医療費助成の所得制限の撤廃を、一日も早く実現することを求めるが。

A 実現可能な方向で、行政運営をどうしていくべきかを改めて検討する。

Q 成年後見制度利用促進の条例制定に向けて最も大切な視点は何か。

A 当事者の方の意思決定をどのように保障できるかの点にある。

Q 市民後見人養成講座の結果と今後のフォローは。

A 7名の市民後見人候補者が誕生した。既に2名の方が後見活動に従事。今後フォローアップ研修や連絡会を開催し、社会福祉協議会が監督業務を受任し活動を支援する。

Q 全戸配布された冊子「くにたち災害対策（保存版）」では、震災時の火災に伴う焼失率や避難率の高さに基づく実際の危険性を、しっかりと伝えられていないのではないかと指摘しているが、延焼火災への危機意識につながるような掲載を、改訂時に行う方向で検討する。

他、国立駅南側周辺における市営自転車駐車場の短時間一時利用の無料化要望への対応を質問。



旧国立駅舎開業イベントをみんなで盛り上げる準備を！

自由民主党 高柳貴美代 議員

Q 子育て支援サービスの更なる充実のためシルバ一人材センターで行う家事手伝いサービスを周知して欲しいがどうか。

A 今後は子供の送迎やお預かりなどの育児支援サービスのみならず、買物、食事の支度、清掃、洗濯等家事援助も受けられる旨を市民に周知したい。

Q 前議会で、市庁舎駐車場に思いやり駐車スペースの設置を提案したが、その後の進捗状況を問う。

A 運営管理者との協議の結果、新たに2台分の優先駐車室として設置可能。今後先進市の実情を踏まえ、表示方法や設置方法等を検討し8月をめどに準備を進めて参る。

Q 子育て応援寄付つき自動販売機を増やす予定は。

A 今後公共施設への設置に限らず、市内各所への設置の可能性を視野に入れ検討を進めて参りたい。

Q 令和2年4月旧国立駅舎開業イベントをまち開きのチャンスと捉えチャレンジする商店会をはじめとする多くの市民の意を受け、早急に行動すべきだと考えるがどうか。

A 皆様の意を受け、話し合うチャンネルを早急に作り、一緒に開設を喜び合い将来に繋げる方向を見出して参りたい。



女性の部長が一人もいないのは問題！積極的改善策導入を

こがしの木 上村和子 議員

Q 3月議会で人権センターの設置について提案したが、その後の検討は。

A 人権に関する行政や地域における歴史的経過を周知・啓発する場は必要。

Q 6月末に決まる教育大綱におけるインクルーシブ教育の内容は何か。

A 「市長」前文に人権・平和多様性条例の基本理念であるソーシャルインクルージョンを入れ、フルインクルーシブ教育を目指す。

Q 女性がリーダーシップを発揮できる職場づくりについて、女性の部長が1人もいない現状を打開するために、一定の割合

を女性とする積極的改善策を導入してはどうか。

A 市行政の最高意思決定機関である庁議に女性がいないのは問題ではないか。クオーター制の提案かと思うが、管理職を目指す目指さないは個人の選択の側面もあり現段階では良い方法とは思えない面もある。誰もが働きやすい職場環境づくりを地道に取り組んでいきたい。

他、防災計画の中にSOGIの視点はあるか、国立らしい成年後見人制度について、生きづらさを抱える人たちが集える出張カフェ、自習室、国立版学習権宣言等を質問。



市民負担増の使用料・手数料の値上げは中止を

日本共産党 高原幸雄 議員

Q 印鑑証明や住民票をはじめ、駐輪場・保育料・下水道などの使用料・手数料の見直しは、どう検討されているのか。

A 平成12年以降見直しを行っていない、財政健全化条例では定期的な見直しが行うので見直しを行う。消費税10%引き上げに関する、適正に転嫁するよう助言がある。地域集会所使用料など15種類、手数料22種類となる。スケジュールは4月以降基本方針の素案のパブリックコメント、9月定例会で基本方針の案と料金改定の報告を行う。12月議会に条例改正案、4月から実施を考えている。

Q まちづくりでさくら通り郵便局前のコミュニティバスを「バス停にベンチを設置してほしい」との市民の声がある。実現できないか。

A 準備次第設置する。

Q 甲州街道の地下道の「不審者」対策、第七小西側道路の安全対策は。

A パトロールを強化する。信号機の設置は難しい。点滅ビヨウは設置する。

Q 待機児童対策について。

A 4月1日待機児童は旧定義で98名、今後、0歳から2歳児の保育園の増設を検討する。



行政をチェック！～6月議会での報告事項～

市当局から本会議や委員会で、次のような報告があり、議員から活発な質疑や意見が出ました。

本会議への報告事項

- ・平成30年度国立市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について（報告第3号）
- ・専決処分事項の報告について（報告第4号、報告第5号）
- ・国立市土地開発公社の経営状況について（報告第6号）
- ・公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の経営状況について（報告第7号）

各常任委員会への報告事項

・平成30年度事務事業評価委員会結果報告書に対する市の対応について（各常任委員会）

総務文教委員会

- ・損害賠償請求事件について
- ・(仮称) 国立市行財政改革プランの策定方針について
- ・使用料・手数料の見直しの進捗状況について
- ・会計年度任用職員制度の導入について
- ・新学校給食センター整備事業方針(案)について
- ・国立第二小学校改築マスタープラン(案)について⇒(詳細は7面に)

建設環境委員会

- ・国立市交通安全計画(素案)について
- ・国立市自転車安全利用促進計画(素案)について
- ・都市計画道路3・4・8号線整備事業について
- ・旧国立駅舎の管理運営に関する検討状況について
- ・(仮)矢川プラス兼複合公共施設の基本計画(案)について⇒(詳細は7面に)
- ・富士見台地域まちづくり協議会の設置について

福祉保険委員会

- ・生活保護業務に係る事務処理について
- ・国立市の公共施設における受動喫煙防止対策に関する指針について
- ・国立市における待機児童の解消に向けた取組について
- ・幼児教育・保育無償化について
- ・保育所利用者負担額見直しの検討状況について
- ・国立市社会福祉事業団設立の進捗状況について⇒(詳細は7面に)

<第二小学校改築マスタープランを策定しています>

【国立第二小学校改築マスタープラン（案）について（総務文教委員会）】

当局から次のような報告がありました

- ▶ 地域・児童・先生も一緒につながり、未来へ夢を育てる学校にしたいという思いが込められている。
- ▶ 5つのコンセプト「学びを生み出し共に育ち学び合う」「自然とふれあい豊かな心を育てる」「世代を超えて伝統を未来へつなげる」「絆を大切に地域と共に育つ」「いつでも誰でも安心安全に過ごせる」をもとに、具体的なイメージを策定する。
- ▶ 複合施設化のための配置や動線にも配慮し、防犯・防災対策も十分にしていく。
- ▶ 2019年度、2020年度に設計を行い、2021年度、2022年度に現在の校舎を使いながら第1期工事を行い、最終的には2025年度に完成を見込んでいる。
- ▶ 今後パブリックコメントなども通じて意見をいただき、マスタープランの策定に生かしていきたい。



※完成イメージ

こんな意見が出ました

- ライフサイクルコストをぎりぎりまで調整する中で、下げられる方法を考えてほしい。
- 卒業生のつくった作品の日時計や土壇は、安全性を確保したうえでぜひ残してほしい。
- 桜並木を中心とした桜が東側に多くあるが、それがどうなるか調査し近隣住民や子どもたちに早く知らせるべき。
- 子どもたちや保護者に魅力的と思われている芝生を、今後も残していくべき。
- 複合施設化に伴い駐車場も必要になっていくと考えられるので、検討すべき。
- 窓やテラスが基本的に西に設置されており、熱対策を真剣に検討すべき。
- 西福祉館の機能がそのまま移転することになるので、学校機能が損なわれないよう十分な配慮が必要。
- 建て替えに際して今後も子どもたちや保護者、関係職員に話を聞く機会を設けるべき。
- 被災時には避難所となる建物のため、耐震を震度7に対応できるようにしてほしい。

<矢川プラス兼複合公共施設の計画を策定しています>

【（仮）矢川プラス兼複合公共施設の基本計画（案）について（建設環境委員会）】

当局から次のような報告がありました

- ▶ 計画段階で市民の方を中心に意見を伺い、その意見を基に空間的要素を踏まえながら計画案を策定した。



※完成イメージ

- ▶ 活用計画での「子ども」「高齢者」「にぎわい」の視点から、地域に「元気」を生み出すというコンセプト。
- ▶ “育つ・育む・共に過ごす”を通して矢川プラスという「場」を介して多世代がつながり、目的がなくても気軽に集える居場所としての空間を目指して整備していく。
- ▶ 子どもから高齢者まで利用できるユニバーサルデザインに十分配慮していく。

こんな意見が出ました

- 一般来場者用の駐車場も整備した方が、さらに活用の幅が広がるため、その辺について検討してほしい。
- ガラス面が多く、明るいというのは良いことだが、ヒートロスの観点からも今後十分に検討してもらいたい。
- 高低差が問題にならないようにバリアフリーの観点で十分に配慮してもらいたい。
- 地域の経済活動の活性化のために郵便局や金融機関など、地域と連動した施設になるよう進めてほしい。

<社会福祉事業団（（仮称）社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団）設立に向け、進めていきます>

【国立市社会福祉事業団設立の進捗状況について（福祉保険委員会）】

当局から次のような報告がありました

- ▶ 子どもを産み育てたいと思える環境づくり、子育て支援及び地域と協働した子どもの育成活動を提供していく。
- ▶ 地域の児童福祉の増進を図り、子育て世帯が地域で安心・安全に自立した生活を営むことができるまちづくりを目指していくことを目的として設立する。



※イメージ

- ▶ 事業団設立の趣意については、設立準備会にて骨子を検討中である。
- ▶ 正式名称は「社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団」になる予定である。
- ▶ 正式名称とは別に利用者に親しみのある通称を、今後検討していく。
- ▶ 都営住宅の建替に伴い、2020年度に事業団が矢川保育園の建替を行い、完成後は同保育園を事業団に移管する。
- ▶ 建替後の矢川保育園において、一時保育を実施する。

こんな意見が出ました

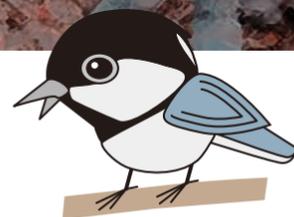
- 事業団への職員派遣は法制度上5年が上限。保育の質が保てないのではないかと。
- 公立職員と事業団職員の人事交流も考えてほしい。
- 市職員と事業団職員の待遇格差を生まないように努めつつ進めるべき。
- 非認知能力を高める幼児教育を、支援が必要な子供たちに届くような仕組みを作るべき。
- 職員の派遣に関しては、入れ替えによって子どもの環境が変わることがないように要望する。
- 事業団を導入するにあたり2園目以降は検証したうえで、職員・保護者ともに同意を得たうえで進めてほしい。

意見交換会 in 農業まつり

市政に関して気になること、ご意見、ご要望、なんでもお話しください。
国立市議会議員が、お茶とテーブルを用意してみなさまをお待ちしています。
ご休憩がてら、お気軽にお立ち寄りください。

【農業まつりとは？】 くにたちの農とふれあい、秋の実りを堪能できるイベントです。くにたちで育った農産物の展示・販売や、苗木などの無料配布、その他、国立市消費生活展との同時開催により多くのイベントが開催されます。秋の祝祭にぜひお越しください。

- 日時** 令和元年11月9日(土)12:00～14:00、11月10日(日)11:00～14:00（予定）
- 会場** 国立市役所1Fロビー（国立市富士見台2-47-1、谷保第四公園隣り）
- テーマ** 市政に関してご意見・ご要望、気になる事など、なんでもお話しください！



NEW!

知ってる？市議会あれこれ ～庁舎のランプ～



市役所正面玄関を入ってすぐ右の総合案内の頭上にランプ（出退表示器）があります。これは議員が来庁しているかどうか分かるようになっています！議員へご用の際は2階議会事務局または1階総合案内までお声がけください。

決算特別委員会・予算特別委員会の インターネット中継を開始します

国立市議会では、開かれた議会の実現のため、本会議は平成21年第3回定例会より、常任委員会は平成28年第1回定例会よりインターネット中継（生中継および録画映像配信）を行っております。

今後も更なる開かれた議会の実現を目指し、令和元年10月より決算特別委員会を、令和2年3月からは予算特別委員会のインターネット中継を新たに開始する予定です。

生中継および録画映像配信はスマートフォン・タブレットでもご覧いただけます。

インターネット中継（生中継および録画映像配信）は、国立市議会ホームページ内「インターネット中継」及び右記QRコードから、ご覧いただけます。



◆編集後記◆

市議会だより249号はいかがでしたか？改選後初の6月定例会が終了し、広報委員会では新人議員2名を含む4名で、新たな気持ちでの広報活動スタートです。

議会の動きを分かりやすく伝え、市民の皆さまに議会を身近に感じていただけるような紙面になっていれば幸いです。



新コーナー「知ってる？市議会あれこれ」を開始しました。
次号もお楽しみに！

掲載記事の訂正とおわび

令和元年6月20日発行「くにたち市議会だより」No.248号の4面の記事中に誤りがありました。

市民の皆さま、また関係各位に心よりおわび申し上げます。

4面下段 他市との一部事務組合議会の議員 冒頭

誤 町村の一部の事務を共同で運営する～

正 市町村の一部の事務を共同で運営する～

4面下段 他市との協議会の委員 最後

誤 多摩川架橋及び関連道路整備促進協議会
中央線の高架化と複々線化を関係機関に～

正 多摩川架橋及び関連道路整備促進協議会
多摩川にかかる橋や関連道路整備を関係機関に～